

県政だより

# あきた 新時代

10<sup>2002</sup>  
月号

平成14年10月1日発行(第85号)  
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

☎018(860)1073

FAX 018(860)1072

sinjidai@pref.akita.jp

## 首都圏で秋田を売り込め

第6回北海道・北東北知事サミット

[まちむら元気ルポ]

琴丘町[住民総参加でスポーツのまちづくり]

雄和町立川添保育所の9月生まれ  
の子どもたち。自分の顔よりも大  
きい花に囲まれにっこり。雄和国  
際ダリア園での1コマでした。



# 首都圏で秋田を売り込め

県では、秋田の魅力を首都圏等に売り込む活動を展開していますが、ここでは、秋田の青果物や食材のPR、販路拡大を目指した取り組みを紹介します。

## 安全と満足の青果物を消費者に

本県の青果物は、年間出荷額がおおよそ161億円(平成13年度「全農あきた」取り扱い分)、このうち首都圏向けは89億円と全体の55%を占めています。この巨大な市場を抱える首都圏で、このほど県産青果物の知名度アップと販売促進を目指したキャンペーンが行われました。

## 知事を先頭に青果物のセールス

8月2日早朝、寺田知事と農業団体の代表が東京都の大田市場を訪問。せり売りを控えて活気づく市場内を視察したあと、知事は多くの仲買人を前にあいさつ。「秋田はお米だけではない。年間をとおして新鮮な青果物をお届けするので、一層のご愛顧をお願いしたい」と、県産青果物をアピールしました。

## 市場関係者からは厳しい注文も

知事の市場訪問にあわせて市場関係者との意見交換が行われましたが、参加者からは県産青果物を評価する声があった一方、注文も出されました。

- ・欲しい時に欲しい量を確保してもらいたい。
- ・食品に対する消費者の不安が高まっていることを生産者もしっかり認識してほしい。
- ・消費者が求めているのは満腹ではなく満足である。

- ・秋田県産リンゴやサクランボの味は他県産に負けないが、知名度がまだまだ低い。

知事は、このような市場ニーズへの対応を約束するとともに、県産青果物の取扱量をさらに拡大してくれるよう要請しました。

また、県などによるトップセールスと併せて、首都圏のスーパー70店舗で「秋田フェア」が開催され、8月2日からの3日間で、スイカやメロン、トマトなどを中心に、おおよそ1千万円分の青果物を売り尽くしました。

食の安全性に対する消費者の関心がかつてなく高まる中、県では安全・安心な秋田県産農産物のブランドを確立するため、農業団体や生産者と一体となった取り組みを進めています。

「ミス・フレッシュ」もPRに役  
(東京都江東区のジャスコ南砂店にて)



安全・新鮮で人気の農産物直売所  
(八竜町・ドラゴンフレッシュセンター)

お問い合わせ 県流通経済課 TEL018(860)1761

## 秋田の応援団「ショッパーズ」

### 首都圏で秋田の郷土料理を提供

秋田の魅力を伝えるテレビCMが首都圏等で放映され話題になっていますが、県では、秋田の観光や物産を県外に売り込もうとさまざまな活動を展開しています。首都圏で秋田の郷土料理や地酒などを提供してくれる飲食店のネットワーク「ショッパーズ」(ショップ:お店)もそのひとつ。すでに100を超えるお店が登録されていますが、ここではその中から4店を紹介します。

### 秋田藩

中央区銀座4丁目 TEL03(3541)9388



お店は銀座の「歌舞伎座」すぐ横にあり、老舗風のたたずまいと秋田藩ののれんが目じるし。おすすめは、なんととってもあきたこまちを使った本格派きりたんぼですが、とんぶりやじゅんさい、はたはた、だまこもちなど、秋田直送の旬の

素材を生かした郷土料理も豊富です。

オーナーの小林純子さんは能代市の出身。「秋田への思いは年々強くなるが、その気持ちを料理に込めて、秋田のすばらしさを一人でも多くの人に味わってもらいたい」と話していました。



オーナーの小林純子さん

### 秋田料理「男鹿半島」

江東区牡丹3丁目 TEL03(3641)1511



マスターの堀騰<sup>のぼる</sup>さんは、食べ歩きの趣味が高じてしまい脱サラしてこの道に入ったとのこと。それだけに味へのこだわりは徹底しており、月に一度は秋田に帰って直接食材の交渉に当たるといいます。おすすめは、馬肉などのかやき料理やじゅんさい鍋、旬の岩がきなどですが、メニューなしですべてが「おまかせコース」というところにも、マスターの味に対する自信の程が感じられます。

このマスター、粋な風貌と気っぷのいい語り口は江戸っ子風ですが、生粋の秋田県人。秋には都内に3店目を開業したいと新たな意欲をのぞかせていました。



マスターの堀騰さん

### 「太平山総本店」

新宿区四谷1丁目 TEL03(3355)1649



マスターの高橋幸夫さんは、大分県の出身ですが、「太平山」の蔵元との縁で何回か秋田を訪れるうちに秋田のお酒と食材にはまってしまったといっています。

いろいろやつり鍋など郷愁を誘う店内には、秋田をPRするポスターがびっしり。きりたんぼやしょつるに加え、由利直送の岩がきやたら鍋、比内どりなど、メニューはまさに秋田づくしで、お酒はもちろん「太平山」です。

秋田の郷土料理はどれも評判が良く、自分がほれ込んだ秋田へのファンがふえていくことに大きな喜びを感じるという高橋さんです。



マスターの高橋幸夫さん

### 「北野水産」

新宿区歌舞伎町1丁目 TEL03(5272)6633



秋田市内ではおなじみの居酒屋「北野水産」が、東京でも激戦区といわれる新宿歌舞伎町に進出したのは今年の2月。店内はやや照度を落としたシックな雰囲気、メニュー

には秋田の郷土料理に加えて、秋田のお酒48銘柄がびっしり。きりたんぼセットの地方発送という居酒屋らしからぬメニューもあります。

取材に協力していただいた吉田茂樹さんは八竜町の出身。お店が繁盛して秋田の知名度がアップしてくればということで、エネルギーに店内をかけたまわっていました。



吉田茂樹さん

こんな秋田への熱烈な応援団が、首都圏に100店以上もあるということは心強い限りです。皆さんも上京の折にはぜひ立ち寄って、秋田の旬な情報を提供していただきたいと思います。なお、「ショッパーズ」登録のお店は県のホームページ(<http://www.pref.akita.jp/tokyo/team/>)でも紹介しています。

お問い合わせ 県観光情報発信チーム TEL018(860)2273

# 第6回北海道・北東北知事サミット

第6回北海道・北東北知事サミットが、8月23日、小坂町の小坂鉱山事務所を会場に開かれました。このサミットは、秋田、青森、岩手の北東北3県の知事が、共通する課題について意見を交換し、連携した取り組みを強化することを目的に毎年開催しており、昨年からは北海道知事も参加しています。

今回のサミットでは「21世紀型の健康」をテーマに、寺田知事をはじめとする4知事が、秋田県立脳血管研究センター所長の安井信之氏などをゲストに迎えて意見交換を行いました。



会場となった小坂鉱山事務所の前で

## ▶▶▶サミットにおける主な合意事項▶▶▶

### 1. 北のくに健康づくり推進会議(仮称)の設立

4道県が健康社会づくりを加速するため情報を交換し、課題解決の方策等を一緒に検討します。

健康情報ネットワークの構築  
スポーツによる健康づくり  
食生活の改善などによる健康づくり など

### 2. 21世紀型の健康を育む地域づくり

「やすらぎと癒しのくに」の形成  
豊かな自然など、地域がもつ資源を生かして、やす

らぎがあり癒される健康地域の形成を目指します。

健康を育む安全・安心な北の「食」づくり



記者会見の様子

このほか、3県での産業廃棄物税の導入や4道県合同のソウル事務所の開設などについても合意しました。

お問い合わせ 県総合政策課 TEL018(860)213

## 県健康増進交流センター「ユフォーレ」

河辺郡河辺町 TEL018(884)2111

### 特別企画「秋のトレッキングツアー」

ユフォーレでは、オープン5周年を記念して「秋のトレッキングツアー」を行います。

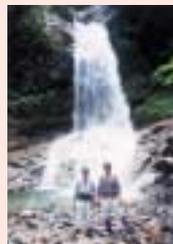
秋の自然を「山の案内人」と一緒にお楽しみください。

日時 10月20日(日) 岩谷山  
10月27日(日) 岩見峡

定員 各10人程度

参加料 3,000円(昼食、保険料、ユフォーレ入浴料込み)

\*上記日程以外でも随時トレッキングの受付を行っています。(要予約)



「山の案内人」  
私たちがご案内します

## 県立スケート場

秋田市新屋 TEL018(863)1241

### 「オープン・サービスデー」

オープン日は終日滑走料無料! 午前と午後の1回ずつ、無料の初心者教室もあります。

日時 10月20日(日)



初滑りを楽しもう

午前9時30分から午後7時まで

貸靴料 一般420円、学生320円、  
中学生以下100円

お問い合わせ 県立体育館事務所  
TEL018(862)3782

遊・学  
さんぽみち

## 県立大館少年自然の家

大館市東 TEL0186(43)3174

### 「家族deナイトinオータム」

自然散策やお菓子作り、押し花クラフト体験などを行います。紅葉が美しい長根山の秋を、ご家族で楽しんでみませんか。

日時 11月9日(土) 午後2時から  
10日(日) 午前11時30分まで

定員 17家族(計50人)

参加料 2,500円(食事、保険料など)

申込方法 10月27日までに、はがきまたはファクスで。  
応募・お問い合わせ 〒017-0821大館市東字岩神沢31

大館少年自然の家「オータム係」  
ファクス0186(43)3175



お菓子作りに挑戦!



情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などをご紹介します。

表紙の11人の子どもたちの輝く瞳と明るい笑顔。未来に夢を持つ一人ひとりをじっと見つめると実に頼もしい。  
(81歳・男性・ニツ井町)

就職難が続く不況の中、それぞれ知恵を絞ってがんばっているんですね。早く景気がよくなるようにと念じております。  
(女性・横手市)

「秋田県特別栽培農産物認証制度」というのがあることを知り、目印のマークが張られている農産物を買いたいと思いました。安心して食べることで産物が増えていくといいですね。  
(27歳・女性・秋田市)

主人の転勤で秋田に来ました。県政よりは、秋田県に関する情報がたくさん載っていて興味深く読んでいます。これからも親しみやすい県政を期待しています。  
(29歳・女性・秋田市)

私はご飯を残すことがあります。『春夏秋冬こぼれ話』を読んで、作物をつくっている人に対して、すごく失礼なことをしたという気持ちになりました。これからは残さないようにがんばります。  
(18歳・女性・井川町)

“ゆとり休暇”には大賛成。が、休みをとれないのも現実。休みたい、けれども休めない…。各職場の意識改革が必要です。  
(37歳・男性・秋田市)

# まちむら 元気ルポ

## 琴丘町

【住民総参加で  
スポーツのまちづくり】

チャレンジデー



毎年5月の最終水曜日に行われる「国際チャレンジデー」。ほぼ同じ人口の市町村同士が、15分以上運動した住民の参加率を競い、下回った市町村は、対戦相手の市町村旗を1週間、庁舎のメインホールに掲揚しなければならないというイベントです。琴丘町では平成7年から挑戦し、今年は参加82市町村中2番目の98.2パーセントという高い参加率で、対戦相手の島根県三刀屋町を破るとともに、7年連続の金メダルという快挙を達成しました。

琴丘町では昭和50年代から体育・スポーツの普及と振興に力を入れていますが、中でも昭和56年にスタートした「おはようジョギング体操」は、現在まで22年間にわたって続けられ、スポーツ活動を通じた町民の健康づくりに貢献してきました。4月中旬から10月の体育の日まで日曜日を除く週6日間行われているこの活動は、子どもからお年寄りまで、それぞれが徒歩やジョギングで近くの広場

ボランティア活動で施設に感謝



に集まりラジオ体操を行うもので、目標とする「年間100日以上突破者」は、昨年度までに延べ3,000人にも及んでいます。

また、平成8年度には文部省の「総合型地域スポーツ育成モデル事業」の指定を受け、町内の各地域にスポーツクラブが設置され、日常的なスポーツ活動のほか、野球や綱引き、ボウリングなどのクラブ対抗スポーツ大会も開催されています。

さらに、普段利用している施設への感謝の気持ちが、中高生をはじめ町内総ぐるみで清掃を行う「環境ボランティア～施設に感謝～」の実施につながりました。



おはようジョギング体操

お問い合わせ 琴丘町教育委員会 TEL0185(87)3232 FAX0185(87)3944



# 情報 の ひろば

## 募集

### 働く女性の コミュニケーション講座

効果的なコミュニケーションは職場で不可欠な能力のひとつです。働く女性(就職や開業を希望する方を含む)を対象に、人間関係やコミュニケーションをテーマとした講座を開催します。受講は無料です。

日時 10/20(日) 秋田市  
11/10(日) 大館市  
11/24(日) 横手市  
いずれも9:30~16:30  
場所 各男女共同参画センター  
☎県男女共同参画課  
TEL018(860)1555

### 県立技術専門校高卒コースの 生徒募集

県立技術専門校では平成15年度生(高卒コース)を募集しています。  
受付期間 11/1(金)~15(金)  
選考日 11/22(金)  
合格発表 12/3(火)  
出願資格 高等学校卒業者(平成14年度卒業見込みの方を含む)  
☎県労働政策課 TEL018(860)2322  
または各県立技術専門校

### バリアフリー調査の ボランティア大募集

すべての市町村で、公共施設や多くの人が利用するお店・観光施設などのバリアフリー状況について調査を行います。この調査に参加するボランティアを広く募集します。あなたも自分のまちのバリアフリー調査に参加してみませんか。  
調査期間 10月中旬~11月末  
☎調査実行委員会事務局(県身障協会内)  
TEL018(864)2780

## お知らせ

### 認可外保育施設の届け出

児童福祉法の改正により、10月から認可外保育施設の事業者は秋田県知事(秋田市においては秋田市長)への届け出等が義務づけられました。届け出事項等の詳細については、県子育て支援課(秋田市においては秋田市児童家庭課)におたずねください。

☎県子育て支援課 TEL018(860)1343  
秋田市児童家庭課 TEL018(866)2094

### 10月はマイバッグキャンペーン 強化月間

マイバッグキャンペーンは、買い物の際に、自分の買い物袋(マイバッグ)を持参することにより、レジ袋などのごみの減量や資源の節約に努める運動です。地球環境にやさしい身近な取り組みとして、次のことにご協力ください。

- 買い物袋を持参する。
  - 簡易な包装の商品を選ぶ。
  - エコマーク商品やリサイクル商品を選ぶ。
- ☎県環境整備課 TEL018(860)1595

### 10月は「土地月間」です

- 土地は、生活や生産のためになくはない貴重な資源です。各種の土地利用計画に従って、土地を適正かつ有効に活用しましょう。
- 県は、地価調査結果(7月1日現在の調査地点の価格)を、9月20日付け県公報で公表しました。土地取引の指標としてご活用ください。県公報は、県庁県政情報資料室、美の国秋田ネット(<http://www.pref.akita.jp/>)等でご覧になれます。

☎県建設管理課 TEL018(860)2424

### ご利用ください。女性の相談窓口

県中央男女共同参画センターでは、女性が抱えるさまざまな悩み(生き方、こころ、からだと性、夫婦関係、夫の暴力等)についての相談に応じています。あなたの立場に立って考え、あなたらしい生き方のお手伝いをします。

電話相談、面接相談  
月~土曜日 9:00~17:00  
法律相談 第1水曜日 13:00~15:00  
グループ相談 月2回  
☎県中央男女共同参画センター  
TEL018(836)7846

### 男鹿・南秋地区養護学校(仮称) 説明会

平成15年4月に開校するこの学校の説明会を次の日程で開催します。いずれも同じ内容ですので、都合のよい日においでください。

10/29(火) 10:00~県庁第二庁舎62会議室  
10/30(水) 10:00~中央健康福祉センター  
10/31(木) 10:00~若美町立払戸小学校  
11/1(金) 10:00~男鹿市役所会議室  
☎県教育庁幼児・養護教育課  
TEL018(860)6135

### 本荘合同庁舎ができました

本荘税務署、秋田地方検察庁本荘支部・本荘区検察庁、秋田地方法務局本荘支局、秋田統計情報事務所本荘出張所が入居する合同庁舎が完成しました。  
場所 本荘市出戸町(本荘郵便局向かい)  
☎本荘税務署 TEL0184(22)2335

## 催し

### 農業研修センター参観デー

内容 植物観察会・生態系公園大写真展・園芸実演会・ご飯の銘柄あてコンテスト等  
日時 10/20(日) 9:30~15:30  
場所 県農業研修センター(大潟村)  
☎TEL0185(45)3111  
<http://www.pref.akita.jp/atikikaku/>

### ベンチャープラザ秋田2002

県内ベンチャー企業のプレゼンテーション、ジャスダック・東証マザーズの説明会、株式投資の専門家による講演、交流会を実施します。ベンチャーや起業に関心のある方なら、どなたでも参加できます。  
日時 10/22(火) 13:00~  
場所 秋田キャッスルホテル  
☎(財)あきた産業振興機構  
TEL018(860)6701

### 県立盲学校の学校公開

目の不自由な方、見えにくい方、また盲学校を見てみたいと思っている方は、ぜひご来校ください。あんま、はり、灸体験のほか、教育・生活相談、児童生徒の作品・視覚補助機器の展示などを行います。  
日時 11/1(金) 13:00~15:00  
場所 県立盲学校 秋田市土崎港南3丁目)  
☎TEL018(846)2540  
<http://www.akita-c.ed.jp/sch11151>

# 広報 の窓

## 県政への苦情は県民行政相談室へ ~フリーダイヤルでお気軽に~

県民行政相談室にフリーダイヤルを設置しましたので、お気軽にご相談ください。県政に対するあなた自身の利害にかかわる苦情を、県民行政相談員が公正中立の立場で調査、処理します。

相談日時 月火木金の午前10時 午後4時  
(フリーダイヤルは平日の午前8時30分から午後5時15分まで利用できます)

受付場所 県民行政相談室(県庁1階)  
電話 フリーダイヤル0120-229079  
(携帯電話からは018(860)1082, 1083をご利用ください)

ファクス 018(860)1072

Eメール kujyou@pref.akita.jp

## あなたの声を県政に

県では、県民の皆さんから提言や要望などをお聴きするため、さまざまな窓口を設けています。お気軽にご利用ください。

### 知事面会日

県政発展のための提言などを、県民の皆さんから知事が直接お聴きします。

面会日 原則として毎月第一月曜日

場所 知事室(県庁3階)

申込方法 知事面会申込書に必要事項を記載の上、前月15日までに情報公開課にお申し込みください。

### 知事への手紙

切手不要の用紙を県庁、地方総合庁舎の県民ホール、市町村役場に置いてあります。任意の用紙でもかまいませんが、その場合は「知事への手紙」と明記してください。

### 電子メール秋田県への提言

県のホームページ「美の国秋田ネット」の「県政への提言」からお入りください。

http://www.pref.akita.jp

受付・お問い合わせ

県情報公開課 TEL018(860)1071,1076

ファクス018(860)1072

Eメール koho@pref.akita.jp

## 今月の広報番組

### テレビ

#### こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15

10月6日 違法建築の防止

13日 県議会だより(11:25まで)

20日 自動車道が能代まで開通

27日 知事とともに(11:25まで)

#### 秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00

10月7日 紅葉の森吉山へ(22:09~)

14日 給食畑の野菜を食べよう

21日 われら健康づくりチャンピオン!

28日 県立大学ってどんなところ?

#### あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45

10月5日 炭のパワー知ってますか

14日 おやじ変身!

(月曜日15:30~15:45)

19日「スポレクフェスタ」あきた

26日 美味しい地鶏をめざして

### ラジオ

#### 県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50

#### モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55

## 春夏秋冬 こぼれ話

シリーズ43

☆ 小西 一三 / 著 小西由紀子

## とんぶりの皮むき機械は 地区の農家の企業秘密



脱殻後のとんぶりの花弁のように見える部分はガク。適度に乾燥させてから加工する。

岸一雄さん(65)

機械がはいる前  
だばうすに打ち  
つけて脱殻  
したって  
いうな...

脱殻後のほうき草は、このように2~3把をたばねて、ほうきにしたという。

九月中旬、比内町特産のとんぶりの収穫が始まった。とんぶりはほうき草の実で、だんぶり(とんぼ)の目のようにキラキラ光ることから、このように名付けられたともいわれている。栽培は同町の独鈷地区を中心に行われており、栽培面積は約四十三ヘクタール。

ほうき草そのものは珍しいものでもなく、観賞用やほうき草の材料として全国各地で栽培されていた。しかし、小さな実を収穫して加工・販売しているのは比内町が断然日本一だ。

「とんぶりはな、脱殻までは楽だとも、よいだね(容易でない)のはその先なんだ」と教えてくれたのは、収穫作業の手伝いをしていた岸一雄さん。「津軽の人から作り方を聞いて、独鈷で、だば江戸時代から食っていたという話だ」と岸さんは言う。かつては食料というより、利尿効果や疲れ目解消などの薬として食べられていたらしい。

「昔だば、手のよく動くばあさんのいる家だね」といふ。とんぶりが食われなくなった。鍋で煮てから冷めて水の中で何回も何回も、もみ洗いで皮を取らねばいげねからな。雪の降る頃に沢水や井戸水で洗うもんだから、指つこがガチガチになったもんだ」といふ話をボクも農業関係者から聞いた事がある。

JAあきた北・園芸特産課の阿部さんの話によれば、とんぶりが商品として販売されるようになったのは昭和五十年頃から。それ以前は余りにも手間がかかるため、自家用分しか加工できなかつたからだという。しかし、昭和四十八年、地区に加工施設が完成し、一番大変だった皮むき作業の機械の開発にも成功。生産量が一気に増大し、初めて出荷できるようになった。

「どんな機械なのか、私も見たことがありません。地区の企業秘密ということになってますから」と阿部さんは言う。それでも最後の仕上げは人の目と指先だけが頼り。大変な作業ということにかわりはない。



## 私のおすすめ 「秋田の風景」

### 「森吉町・太平湖」 竹内 淳美さん（秋田市）

秋晴れの日曜日、この景色を写真に収めた人は、私を含めたくさんいることでしょう。

数年後、またこの湖を訪れた時、自然がこのままで、景色も損なわれずに残っていてほしいと思います。

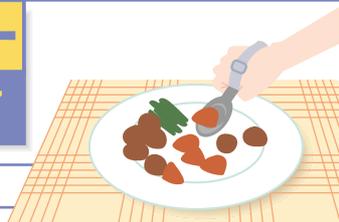


あなたのお気に入りの風景(自然景観や街並みなど)の写真に、その風景にこめるあなたの思いを100字程度お書き添えのうえお送りください。採用された方には図書カード千円分をさしあげます。写真はお返ししませんので、ご了承ください。

カラープリント、サイズは自由。郵便番号、住所、氏名(読みがな)、電話番号をお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課(住所は不要)あてお送りください。

## バリアフリー 講座……………その7

### 自助具を知っていますか。



高齢者や障害を持つ人の中には、一般の人が使う食器や服では、自分ひとりで食事をしたり、着替えたりできない人がいます。「自助具」とは、そのような人が自分の力でできるように作られたり、改造された日用品のことです。

例えば、握る力が不足している人のためには、缶ジュースのプルトップをあけるための道具、裏が滑りにくくなっている皿、口に運びやすいよう柄が手に合わせて曲げてあるスプーンやフォーク、ストローのついたコップなど、また、ボタンを自分でかけられない人のためには、かけやすいように大きなボタンに変えてあったり、マジックテープでとめられるようになっている服など、いろいろな製品がそれぞれの症状に合わせて作られています。一般にはなじみが薄いため、扱う店も限られていますが、必要とする人が必要なときにすぐ手に入れられる環境を整える必要があります。

お問い合わせ 県バリアフリー促進チーム TEL018(860)1325  
ホームページ: <http://www.pref.akita.jp/b-free/>

## 気象情報サービス 「携帯こまち」

農業などに携わる方を対象にした気象情報サービスが、10月からは携帯電話でも受けられるようになりました。その内容はインターネット対応の携帯電話から情報を検索できるサービスと、警報や注意報を携帯電話へメール送信するサービスの2種類です。

申し込みは、携帯電話から

<http://www.pref.akita.jp/komachi/kt.htm>  
またはパソコンから

<http://www.pref.akita.jp/komachi/>  
にアクセスしてください。

県農林政策課 TEL018(860)1725



## クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 首都圏で秋田の郷土料理や地酒などを提供している飲食店のネットワークは?(P2~3参照)

- (A) ショッパーズ
- (B) サーバーズ
- (C) ウォッチャーズ

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは10月25日(消印有効)。ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール([sinjidai@pref.akita.jp](mailto:sinjidai@pref.akita.jp))でどうぞ。

8月号の正解は(C)でした。応募261通、うち正解253通の中から抽選で次の方々当選されました。浅利明さん(鹿角市)、斉藤かなえさん(合川町)、珍田喜美代さん(能代市)、鈴木俱子さん、加藤久美子さん、須田郁子さん、佐々木昭仁さん(以上、秋田市)、松田円さん(仙南村)、藤平由美子さん(湯沢市)、小野寺洋子さん(稲川町)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国秋田ネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

### 編集部から

新聞などでご覧になった方も多と思いますが、北海道・北東北知事サミットが「21世紀型の健康」をテーマに小坂町で開催されました。各道県が連携して、豊かな自然環境を生かした健康づくりを進めることなどで合意しました。

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋... 秋のまくら言葉として思い浮かべる言葉は人それぞれだと思います。いずれにしても『遊・学3000』自由時間を活用して秋を満喫しましょう。



県人口 1,176,293人 (-269)

男 557,392人 (-139)

女 618,901人 (-130)

世帯数 394,462世帯(+43)

(平成14年8月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています